

研究構想シート		学校名	吉賀町立朝倉小学校
		氏名	永島 有香
A 研究主題		表現活動を通して主体的に対話し合い、考えを深める児童の育成 ～算数科におけるガイド学習を通して～	
B 研究の目的		主体的に対話し合い、考えを深める児童を育成するための表現の場や方法を明らかにする。	
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> 対話を通して、考えを深めるまでではない。 思いつきのことは話せるが、文章にして書くのは難しい。 自分の思いを書いてまとめる力が弱い。 対話し合い、表現し合う活動は、学びを深めるために引き続き必要。 	E 手立て・内容（研究仮説） <ul style="list-style-type: none"> リアルで必然性のある課題や、協働して解決できる課題などを設定することで、主体的に対話的な学びが進んでいくようにする。 対話の場面でICTやホワイトボード、ワークシートなどの活用を取り入れることで、思考を共有し個々の考えが深まっていくようにする。 自分の考えを、絵や図、具体物、言葉を使って表現する時間をとる。（個人思考） ICT、ノート、ホワイトボード、ワークシート、具体物など多様な表現方法を経験させ習得させる。 ガイド学習を取り入れることで、児童の主体性を高め、対話的な学びを促進する。 	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> 主体的に対話し合い、考えを深める子 自分の言葉で説明し、対話しながら自分の考えを深める子 振り返り（可視化、子ども自身の自覚）を通して、学びや学び方を深めていく子 	
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> クロームブック、ノート、ホワイトボード、ワークシートの記述、授業の中での対話を基に子どもの学びの変容を見とる。 		
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの実態、めざす姿、手立てを職員で共有する。 ○1学期授業研究 ○夏季休業中 授業構想・指導案作成、複式学級の学習指導出前講座 ○2学期授業研究 ○3学期授業研究 ○授業研究の振り返り 		